

## 平成30年度 ぼちぼちの会学習会・交流会の報告

本年度の学習会・交流会を平成31年3月9日（土）10時から福岡市立当仁公民館で実施しました。各団体関係者29名の参加でした。

最初に木村会長の講演。その後、普段なかなか交流の機会のない各地の「親の会」参加者同士で情報交換・懇親を目的として交流会を実施しました。普段よりも幅広い人たちとの交流を通して質問・面談・情報交換などを行いより研修を深められたと思います。参加者の皆さんご苦労様でした。

### 学 習 会 記 録

講座名	ぼちぼちの会 でこぼこの会共催 学習会・交流会		
学習テーマ	不登校の何が問題なのか～不登校の背景とその課題～		
講師の職業	ぼちぼちの会会長	講師名	木村 素也
実施日	平成 31年 3月 9日（土曜日）	出席者数	会 員 人
実施時間	10時00分～12時30分		登録ボランティア 人
			一 般 人
			合 計 29 人
会 場	当仁公民館	記 録 者	西村仁美
学 習 内 容	<p>10:10から11:00まで          ぼちぼちの会会長木村素也さんの講話          「不登校の何が問題なのか～不登校の背景とその課題～」          内容：平成29年度の不登校児数（病気等も含む）は、14万人以上。学校に行けない子どもは217000人。どちらも最高の数字。          親が「学校に行かなくていいよ」というと、こどもは不安になる。          「学校に行かなくていいよ」の言葉の裏にあるものを、子どもに具体的に示してあげると、不安にはならない。将来の目標を、親子で立てていくことが大事。やらなければならない</p>		

学 習	<p>時に、親や先生が言うと押し付けになる。先輩が言ってくれれば、できるよ、だって俺ができたんだから、と道が示せる。子どもが不登校のさなかにあるときは、親も子も展望がもてない。子どもが大きくなってくると、だんだん見えてくる。しかし、そういう先輩（先輩親）に話を聞く機会はなかなかない。</p> <p>学校に行くデメリット、学校に行くメリット</p> <p>学校に行かないデメリット。学校に行かないメリットがある。</p> <p>不登校の指導は学校に行かないデメリットと学校に行くメリットしか言わない。不利益を強調されることにしかない。その結果不登校児はますます自尊感情が低下し、学習や学校に行く意欲が低下する。つまり不登校の行為自体が問題なのではなく、不登校児であることにより、自尊感情が低下させられることが問題なのである。</p>
内 容	<p>11：10 から 12：10 まで 交流会</p> <p>たくさん先輩ママに、個人の不登校に関する悩み・相談ができ、とても助かった。ほかにも、親自身の生き方についての意見交換もでき、ためになった。</p>
容	<p>12：10 から 12：30 次年度の活動・連絡等</p> <p>参加団体：ステップスクール当仁、ひまわりの会、えがおの会、すまいる Flower) 次の共同イベントは、6月10日(月)第18回通信制・単位制高校合同説明会と7月3日の高校見学会。</p> <p>詳細はHPで確認。</p>



主催 ぼちぼちの会 <http://bochibochinokai.com/>